

科目名	経 済 学 B Economics B	科目コード	30446
-----	------------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	松本 和明（長岡大学）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30】
教科書	由井常彦『講話 歴史が語る「日本の経営」その進化と試練』PHP研究所
補助教材	プリントなど
参考書	授業中に指示

【A. 科目の概要と関連性】

J. シュンペーターの「イノベーション理論」をベースとして、経済成長の主体である企業・ビジネスの発展のプロセスを中心に、日本の革新的企業者活動および新潟県内各地域の企業・ビジネスの経緯と現状および今後を考察する。

○関連する科目：法学、社会学、歴史学Ⅰ（以上前年度履修）、経済学A（前期履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 現代の社会経済において、これを構成する中核的な基本構造の一つである株式会社制度に関する概念と枠組みおよび論理を理解する。	10%	(a1)
② 外部の経済環境と内部の経営組織との相互関係を考察し、理解する。	30%	(a1)
③ 経済学における「革新」の概念、経済主体としての革新的な企業者活動および新潟県内各地域の経済・産業・企業の諸側面を理解する。	60%	(a1)

【C. 履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験【50%】
- レポート【30%】
- 講義への参加および意欲【20%】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	経済環境と経営戦略および企業組織のあり方①	担当：松本
2	経済環境と経営戦略および企業組織のあり方②	担当：松本
3	経済環境と経営戦略および企業組織のあり方③	担当：松本
4	株式会社のしくみ①	担当：松本
5	株式会社のしくみ②	担当：松本
6	J. シュンペーターの「イノベーション」理論	担当：松本
7	日本における革新的企業者活動①－製造業－	担当：松本
8	日本における革新的企業者活動②－流通・小売業－	担当：松本
9	長岡市域の経済・産業・企業①	担当：松本
10	長岡市域の経済・産業・企業②	担当：松本
11	長岡市域の経済・産業・企業③	担当：松本
12	新潟県上越地方の経済・産業・企業	担当：松本
13	新潟県中・下越地方・佐渡島の経済・産業・企業	担当：松本
14	まとめと質問	担当：松本
－	学年末試験	試験時間：80 分
15	試験解説と発展授業	担当：松本